

2006 年度環境アセスメント学会研究発表用執筆要綱

Guidelines of Research Papers for 2006 Annual Conference of Japan Society for Impact Assessment

環境太郎* , 環境花子**

Taro KANKYO , Hanako KANKYO

Abstract

This Guideline is important when you write the paper for 2006 Annual Conference of Japan Society for Impact Assessment. So, you must check this Guideline carefully.

「キーワード：環境，アセスメント，学会（3～5 個程度）」

「keywords：Environment，Assessment，Society（3～5words）」

1 . 原稿の書き方

1 . 1 体裁

a) 原稿分量

A4 版上質紙を縦長に使用し、上下左右の余白を各 25mm として印字する。1 頁当たり 22 字×45 行×2 段 = 1980 字とし、図表等も含めて 6 頁以内とする。

b) タイトル，氏名

1 頁目の上部 5 行程度に和文タイトル、英文タイトル、和文執筆者氏名、英文執筆者氏名を記入する。なお、執筆者の所属については「*」を使用し、同頁下 2 行程度に詳細を記入する。

c) Abstract，要旨

論文の概要を、和文の本論では英文 100～120words 程度、英文の本論では和文 400 字程度で説明する。

d) キーワード

概要の後に、論文内容を的確に表現するキーワードを 3～5 個程度記入する。

e) 言語

冒頭のタイトル、氏名、キーワードはそれぞれ日本語と英語で書く。原稿は和文又は英文で作成する。

f) 印刷

原稿は A4 版がそのままの大きさと印刷される。

g) 章，節，項

章、節、項の見出しは、次のように統一する。

章：1、2、3、...

節：1.1、1.2、1.3、...

項：a) b) c) ...

これ以外の小項目はなるべく避ける。また、各章の前後 1 行と各節の直前 1 行はあける。

1 . 2 活字

a) 手書き不可

数式、図表中の文字等の手書きも原則として認めない。

b) フォント

フォントは、基本として次のように統一する。

活字サイズ：10 ポイント

和文：MS 明朝体

英文・英数字・記号：Times New Roman 体

表題、見出し、図表等：MS ゴシック体

2 . 補注，参考・引用文献

2 . 1 補注

補注を必要とする場合は「(1),(2),(3),...(n)」の記号で本文該当箇所右肩に示し、参考・引用文献の前に一括掲載する。

2 . 2 引用文献

引用文献は本文中で引用したものにとどめ、アルファベット順に次の例を参考にして一括掲載する。

雑誌中の論文：著者名(発行年)論文名・掲載雑誌名 掲載巻(号)、掲載頁最初-最後。

単行本：著者名(発行年)書名・出版社名、出版社所在地、総頁数。

* 環境大学大学院環境学研究科

** 環境大学環境学部